

会 議 録

会 議 の 名 称	平成28年度第2回弘前市子ども・子育て会議
開 催 年 月 日	平成29年 1月31日 (火)
開 始 ・ 終 了 時 刻	14時00分 から 16時00分まで
開 催 場 所	ヒロロ 4階 市民文化交流館ホール
議 長 等 の 氏 名	佐藤 三三
出 席 者	<ul style="list-style-type: none"> ・佐藤 三三 会長 ・黒滝 明人 委員 ・藤田 俊彦 委員 ・鈴木 鉦一郎 委員 ・井澤 優子 委員 ・笹森 麻野 委員 ・加藤 知明 委員 ・奈良 充生 委員 ・外川 きさ 委員 ・小田切 愛乃 委員 ・竹村 陽華 委員 ・中村 ゆき 委員 ・竹内 守康 委員 (弘前市健康福祉部長) ・野呂 忠久 委員 (弘前市教育委員会教育部長)
欠 席 者	なし
事 務 局 職 員 の 職 氏 名	<ul style="list-style-type: none"> ・健康福祉部理事 須藤 悟 ・子育て支援課長 菅野 昌子 ・子育て支援課長補佐 石田 剛 ・主幹兼児童育成係長 間山 博樹 ・児童育成係主査 長内 恒明 ・児童育成係主事 岩崎 千鶴
会 議 の 議 題	<p>(1) 平成29年度の設置認可状況について</p> <p>(2) 平成29年度の教育・保育施設の利用定員及び新規入所申込み状況について</p> <p>(3) 待機児童解消策の効果について</p>
会 議 結 果	事務局案で委員の了承を得る。
会 議 資 料 の 名 称	<p>資料1 平成29年度の設置認可状況について</p> <p>資料2-1 平成29年度からの利用定員変更希望について</p> <p>資料2-2 平成29年度教育・保育施設の利用定員について</p> <p>資料3-1 弘前市待機児童解消策</p> <p>資料3-2 弘前市の待機児童等の状況</p> <p>資料3-3 待機児童解消策の効果について</p>

<p>会議内容</p> <p>(発言者、 発言内容、 審議経過、 結論等)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 案件 3. その他 4. 閉会 <p>◀ 1. 開会 ▶</p> <p>【司会】</p> <p>「平成28年度第2回弘前市子ども・子育て会議」を開会いたします。</p> <p>本日まで出席の委員は14名で、欠席者はありません。弘前市子ども・子育て会議条例第5条第2項の規定により会議成立とさせていただきます。</p> <p>◀ 2. 案件 ▶</p> <p>○ 案件（1）平成29年度の設置認可状況について</p> <p>【議長】</p> <p>案件（1）について、事務局からご説明をお願いします。</p> <p>【事務局】</p> <p>(資料1により説明)</p> <p>【議長】</p> <p>この案件について、委員のみなさまからご意見・ご疑問・ご質問などありましたらお願いいたします。</p> <p>【委員】</p> <p>企業主導型保育について。 市としての指導監督などはどの程度関与するのか？</p> <p>【事務局】</p> <p>企業主導型保育事業については、市町村の計画等によらず実施することとなるため、助成金申請等含め施設と国が直接</p>
---	--

やりとりを行う。ただ、実施施設からは市にアドバイスを求めることもあり、今後とも相互に協力しながら進めていきたいと考えている。

【事務局】

企業主導型保育施設は認可外保育施設となるため、県に届出が必要となる。指導監督に関しても県が関わってくると思われる。

【議長】

私から。

企業主導型保育には、1号～3号という枠はないのか？
地域枠の設定はもう決まっているのか？

【事務局】

企業主導型保育に1号～3号というものは無い。
現時点では、地域枠を設定したいという話で伺っている。

○ 案件（2）平成29年度の教育・保育施設の利用定員及び新規入所申込み状況について

【議長】

案件（2）について、事務局からご説明をお願いします。

【事務局】

（資料2により説明）

【議長】

利用定員に対しての現在の申込み状況が報告された訳ですが、ご質問・ご意見等ありましたらお願いします。

【議長】

1号の利用定員は1,155人、2・3号の利用定員は合わせて5,000人くらいあるということでしょうか？

4月からの申込みが2・3号合わせて587人来ているということでしょうか？

【事務局】

利用定員・申込みについてはそうなります。

【議長】

5,000人の利用定員に対して、587人の申込みというのはどのようにみたらよいのか？

【事務局】

資料は、約5,000人の定員が空いているのではなく、29年4月1日現在で各施設が設定している利用定員を合計すると約5,000人になるという内容である。

実際の空き定員については、資料には載せていないが、卒園・退所児童分で978人分が想定されており、それに対し現在、587人の申込みが来ている状況である。

施設全体の枠としては申込み以上にあるが、保護者の利用希望や施設の職員配置の問題などにより、587人全員が利用できるかどうかは、今後の利用調整の結果次第となる。

【委員】

前年度に比べると申込みは少なくなったというふうに映るが、この587人の内訳として、第1子なのか第2・3子なのかというのが園としては非常に大事なことだと思っている。事務的には大変かもしれないが、そういう集計も必要なことかと思う。

【議長】

ご意見をいただきましたので、もし可能であればご対応いただきたい。

○ 案件（3）待機児童解消策の効果について

【議長】

案件（3）について事務局からご説明をお願いします。

【事務局：長内】

（資料3により説明）

【議長】

ご意見・ご質問等いただければと思います。

【委員】

待機児童解消策を昨年10月から実施して、4か月で達成率が80%となっており、とても早く感じるが、これは当初から想定されたものなのか？

【事務局】

待機児童解消策に実施に当たっては各施設さんのご協力もあり、速やかに対応できたことで、実施した10月からすぐに効果が表れている。

年度途中に待機児童が発生する状況であるため、各施設の整備状況などを踏まえ、今後も相談しながら進めていきたいと考えている。

【委員】

感想として。

利用定員の弾力的運用により「待機児童」は0人という事だが、「保留児童」については明らかに増えている。今後は保留児童の内訳など精査して対策を打たなければならないと思う。

保育士等の確保について、保育士等として復職や新規雇用のとなる場合の施設の優先利用の基準を今後示していただきたい。

【委員】

待機児童など様々な対策を行う中で、現場の保育士さん達の負担や疲労感などはどういったものなのか？

【事務局】

市立保育所からは、事務的な負担が大きいという話はよく聞く。子ども達と接する仕事は全く気が抜けないため、合間での作業となるとなかなか集中できない場合があると。その部分については、施設長を中心に負担を共有しながら良い環境を作っていただければありがたいと思う。

【委員】

弘前子育て施設マップについて、とても見やすく使いやすい

い。こういった市民ファーストな取り組みを今後も続けていただきたい。

【委員】

市HPに施設一覧が掲載され便利になった。ただ、施設の空き状況については説明を受けないと分かりづらい部分もあった。

県が出す冊子や子育てに関する情報など、そういったものも一緒に提供していただければと思う。

【委員】

保留児童となる家庭には、どうしてもその施設に譲れない理由があるわけで、そういった部分も聞きながら対応していただければと思う。

【委員】

保育園の運営に関しては、親の仕事の関係などで保育ニーズは地域によって様々なので、自分たちの地域では何が必要なのか、また、親たちはどういった教育・保育の中身を求めているのか考えながらやっていかないといけないと思う。

待機児童解消策のうち定員の弾力的運用については、弘前の施設は都会の施設に比べれば面積など十分余裕があるので、ぜひこれからも続けていただきたい。

弘前は0歳児から利用する人が多いのか、育休など取って1歳くらいから利用する人が多いのかなど、そういった情報も知りたいと思う。

《 3. その他 》

【議長】

それでは「その他」なにかございましたらお願いします。

【委員】

弘前市保育研究会で「おいしい給食レシピ集」を作成した。それぞれの園が独自に調理等行っており、なかなか統一的なものを生むことができなかったが、今回、管理栄養士の方からの指導も受けながらこのようなレシピ集を完成させることができた。郷土料理なども取り入れておりますので、給食提供の

	<p>見本にしていただければと思う。</p> <p>【議長】 すべての案件が終了となりましたので、事務局にお返しいたします。</p> <p>《 4. 閉会 》</p> <p>【事務局】 案件に関わらず、何かございませんでしょうか？</p> <p>(特に無し)</p> <p>以上をもちまして、本日の会議を終了させていただきます。</p>
<p>その他必要事項</p>	<p>会議は公開</p>